

比謝川行政事務組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
実施状況（2020年度実績）

1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

比謝川行政事務組合の事務・事業により排出された2020年度の温室効果ガス排出量は、11,432 t-CO₂で、基準年度（2017年度）に比べ222t-CO₂排出量は増加しました。

増加した要因は、表2に示す一般廃棄物処理施設からの排出量の増加で、総排出量の76.06%を占めるごみの焼却によるものとなっており、焼却量の増加や焼却時に使用する燃料（A重油）の使用量の増加によるものです。

表1 基準年度との比較

区 分	排出量（単位 t-CO ₂ ）		削減量（削減率）
	基準年度(2017年度)	2020年度	
温室効果ガス	11,210	11,432	+222 (+1.9%)

2 比謝川行政事務組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

表2 2020年度施設毎の温室効果ガス排出量

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO ₂ ）		
		基準年度 2017年度	2020年度	比較
1	一般廃棄物処理施設	10,518	10,779	261
2	一般廃棄物最終処分場	100	100	0
3	ニライ消防本部	591	552	△39
4	事務局	1	1	0
	合 計	11,210	11,432	222

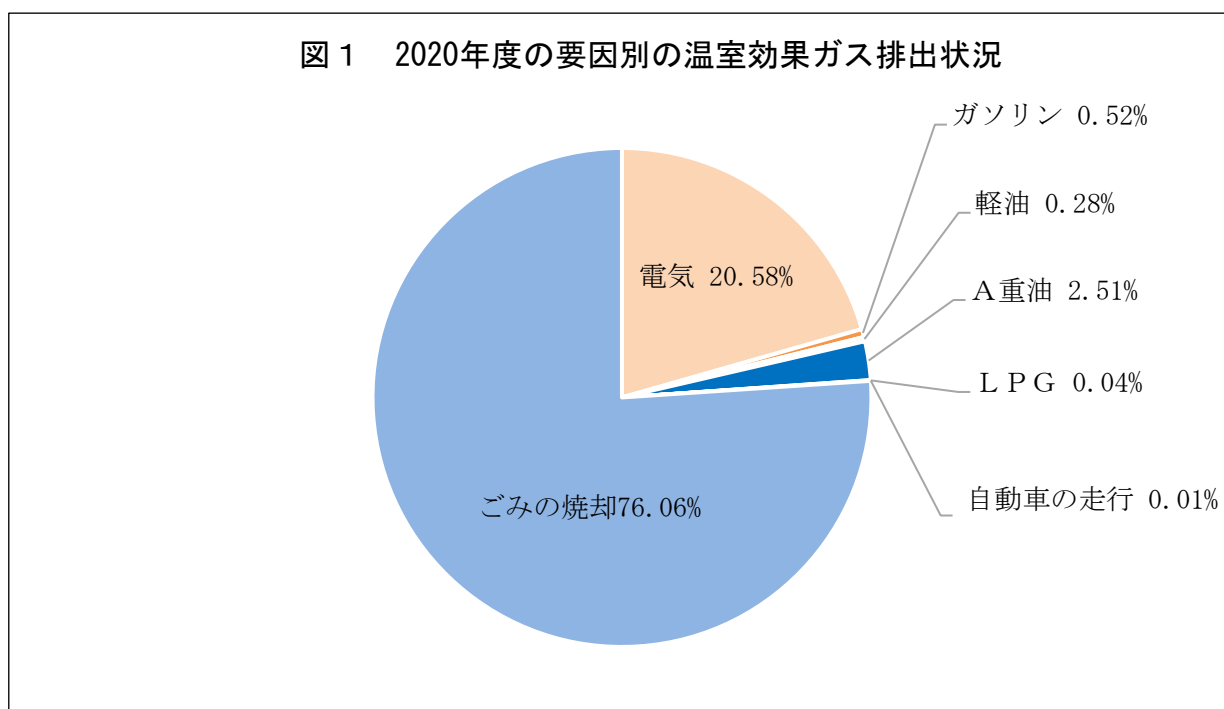
3 要因別の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の76.06%を占め、次いで電力使用によるものが20.58%となっています。

表3 2020年度要因別の温室効果ガス排出状況

	電力	ガソリン	軽油	A重油	LPG	自動車の走行	ごみの焼却	
	使用量	3,058,941 kWh	25,615 L	12,296 L	105,791 L	769.1 m ³	164,354 km	15,932 総焼却量 t
排出係数	0.000769 t-CO ₂ /kWh	0.00232 t-CO ₂ /L	0.00258 t-CO ₂ /L	0.00271 t-CO ₂ /L	0.00655 t-CO ₂ /m ³	※ t-CH ₄ /km t-N ₂ O/km	0.000077 t-CH ₄ /t 0.0000539 t-N ₂ O/t	2.765 t-CO ₂ /t
	温室効果 ガス排出量 (t-CO ₂)	2,352	59	32	287	5	1.60	286.6
割合 (%)	20.58	0.52	0.28	2.51	0.04	0.01	76.06	

図1 2020年度の要因別の温室効果ガス排出状況



4 基準年度（2017年度）からの温室効果ガス排出状況の推移

2019年度と比較して温室効果ガス排出量が△8.6%減少した要因は、主にもえるごみに含まれるビニールやゴム、合成樹脂などのプラスチック系ごみの焼却が少なかったことによるものです。

表4 温室効果ガス排出量の推移

区 分	排出量（単位 t-CO2）			
	基準年度 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
温室効果ガス	11,210	10,923	12,511	11,432
基準年度比較(%)	-	-2.5	+11.6	+1.9
前年度比較(%)	-	-2.5	+14.5	-8.6

表5 施設毎の温室効果ガス排出量の推移

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO2）			
		基準年度 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1	一般廃棄物処理施設	10,518	10,234	11,858	10,779
2	一般廃棄物最終処分場	100	102	96	100
3	ニライ消防本部	591	586	556	552
4	事務局	1	1	1	1
	合 計	11,210	10,923	12,511	11,432